

# 京林大だより

No.65



絵：卒業生 熊走君

## 創立10周年記念行事を開催

京都府立林業大学校は、平成24年に西日本で初の林業専門の学校として、京丹波町の地に開校し、令和4年4月に開校10周年を迎えました。

令和4年11月12日（土）に創立10周年記念行事（式典、講演等）を、畠中京丹波町長や樋口地域連携協議会長（京丹波森林組合長）をはじめ、多くの御来賓、歴任教職員、卒業生等約170名の参加を得て開催しました。

これまでに卒業した151名（1～9期生）は、地域の林業を牽引する人材として、京都府内をはじめ、全国の林業現場の最前線で活躍しています。

引き続き「京都府の森林・林業の担い手の育成」という役割をしっかりと果たせるよう取り組んでまいりますので、皆様の御支援と御協力をお願いいたします。



主催者挨拶(山下 副知事)



高性能林業機械シミュレーター操作の実演



故木村均元副校長御遺族様からの御寄附への感謝状贈呈



記念講演(講師:特別教授 皆川 芳嗣 氏)

### 〈創立10周年記念行事の概要〉

- 1 日 時 令和4年11月12日（土） 13:00～15:40
- 2 場 所 和知ふれあいセンター（船井郡京丹波町本庄花ノ木1-4）
- 3 内 容 (1) 記念式典

- ・「10周年の歩み」紹介ビデオ上映
- ・創立10周年記念誌披露
- ・学生による高性能林業機械シミュレーター実演 ほか

(2) 記念講演 演題 日本の森林・林業の来し方と行く末

講師 (株)農林中金総合研究所 理事長 皆川 芳嗣 氏

## 「第7回林大祭」 を開催しました

昨年12月4日（日）に、日頃お世話になっている地域の皆様や林業関係者の皆様と林業大学校との交流を目的とした「第7回林大祭」を開催しました。

当日は、曇り空で肌寒い気温となりましたが、家族連れなど200名以上の方に来場いただきました。

皆様、模擬店やたき火でほっこりされたり、クリスマスリース教室で心を込めたリースづくりをされたり、薪割り体験や樹のプランコを通じて木を身近に感じられたりとそれぞれのブースを楽しんでいただいている様子でした。

出店いただきました皆様をはじめ、多くの皆様の御協力により林大祭を開催できましたこと、心より御礼申し上げます。



## 校長室より

### 年頭のごあいさつ

校長 柴田 繁

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から京都府立林業大学校の運営に格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染拡大防止対策を図りながら授業を行う「Withコロナ」の学校運営の1年となりました。

創立10周年記念行事や林大祭（学園祭）、更には長野県・岐阜県・京都府の各林業大学校の交流行事など、感染状況を見極めながら、何とか無事に開催することができ、ひと安心しているところです。

さて、3年ぶりに行動制限のない年末年始となりましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしたでしょうか。

## 今月の授業参観

### 『特別研修2 三林大交流会』

11月17日、18日の2日間「全国林業大学校対抗伐木選手権大会(三林大(長野・岐阜・京都)交流会)」が岐阜県立森林文化アカデミーにおいて行われました。

当日は新型コロナの影響で急遽長野県林業大学校の2年生が不参加、岐阜県と京都府との一騎打ちとなりました。結果、当校が7種目中4種目に勝利し見事2連覇を達成しました。

今回2校対抗とはなりましたが、チェーンソーや重機の技術を競い、学び、他校との交流を深めるよい機会となりました。次年度は長野県が開催地、次こそは3校で競い合えることを願っています。



競技終了後、優勝校の記念撮影

林業大学校では、少し長めの冬休みを故郷等で過ごした学生が、1月10日（火）から元気に登校し、授業を再開しています。2年生は、卒業を間近に控え、卒業研究や残された授業に熱心に取り組む、1年生は、2月末から始まる就業体験研修（インターンシップ研修）に向けて、一層、意欲的に授業を受けています。

京都府におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や国際情勢の大きな変化など、社会の大きな転換点を迎えている中で、府民の皆様は、安心して豊かに暮らしていただけるよう、京都府総合計画を1年前倒しして改定し、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点に基づく「あたたかい京都づくり」を進めていくこととしております。

この総合計画において、次代の農林水産業を担う人材確保と育成を進めることで、京都の農林水産業の持続可能な成長を図っていくこととしております。林業大学校におきましては、「京都府の森林・林業の担い手の育成」を図るため、今後も職員一丸となって取り組んでまいりますので、本年も皆様のご支援、ご協力をお願いします。